

## 小平市議会定例会 一般質問通告書

1 一括質問一括答弁方式

② 一問一答方式

質問件名 ころの病気を知ってころの健康を守ろう

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な内容を項目別に記入してください)

「(仮称) ころの健康を守り推進する基本法」の制定を求める署名活動を通して全国の議会から意見書提出の動きがあり、小平市議会も 2012 年 3 月に意見書を提出しています。国は医療計画に盛り込むべき疾病に精神疾患を加え 5 大疾病として国民の生命と健康を脅かす疾病の一つとしました。しかし、日本の「精神疾患対策」、すなわち「ころの健康政策」の位置づけは他の先進諸国に比べて低く、社会としての取り組みが大幅に遅れています。そのため国民のニーズにこたえるための精神保健医療改革のビジョンと具体策の提案を求めています但未だ実現していません。

ころの健康セーフティネットの構築、専門医療の充実や家族・介護者支援などの体制づくりを地域から発信していきながら社会的排除をなくすソーシャル・インクルージョンを目指すために、以下の質問をします。

1. 小・中学校の保健の授業などで心の病や精神疾患についての学びの時間はありますか？あればその内容や時間数はどのくらいか。また、教員研修に精神疾患の正しい知識や対応方法を得る講座があるか、改めて受講者の状況もあわせて伺います。
2. 精神保健について、教育委員会と健康推進課、障がい者支援課、家庭支援担当や市民協働・男女参画推進課との連携で、子ども、教員、保護者、地域の人へのわかりやすい学習会や出前講座などは開催できないでしょうか。
3. 東京都ひきこもりサポートネットの窓口が開設されています。市の担当部署はどこになるか、問い合わせ件数と支援内容、今後の方向性について伺います。

上記のとおり、小平市議会会議規則題 57 条第 2 項により通告します。

2015 年 (平成 27 年) 11 月 19 日 小平市議会議長殿 小平市議会議員 氏名 平野ひろみ  
受付番号【 22 】 - ( 2 / 2 )  
整理番号 (通しNo.) …… ( )